

生物多様性上重要な地域の選定について

1 選定の目的

- ・ 岩手県内には、高山や森林、河川など様々なタイプの生態系が存在しており、このうち高山・亜高山地域のような原生的な自然地域は、自然公園法などの環境関連法令により保全が図られているところ。
- ・ 一方、里地・里山のような人との関わりあいのもとで成立する生態系は、自然に対する人の働きかけの縮小や外来種の拡大などを背景に近年急速に失われつつある。
- ・ このようなことから、来訪者や地域住民が生物多様性の重要性を理解・認識し、その保全に関する県民意識の向上を図り、多様な主体の参画と協働による身近な自然環境の保全活動が促進されるよう、「生物多様性上重要な地域」を選定し、その地域の保全活動も合わせてモデル地域として広く紹介することとしたもの。

2 これまでの経緯

- ・ 有識者で構成する「岩手県自然環境保全指針改定検討委員会」において、指針の改定と併せ、当該地域の選定について検討を行い、令和3年3月に開催した同委員会で、11地域を選定。（選定前には関係市町への意見照会も実施）
- ・ 選定地11地域について、令和3年度に関係市町・団体等の立会のもと、現地確認を実施。

3 選定地一覧

No	生態系区分	選定地	特徴	市町名
1	海岸	久慈湾	三陸沿岸では希少な海浜性の生き物が生息・生育する広い砂浜	久慈市
2		宮古湾	渡り鳥が飛来し、ウミドリ等の希少種が生息・生育する干潟	宮古市
3	山地森林	安比高原ブナ二次林	放牧が育ててきた高原のブナ林、シバ草地	八幡平市
4		姫神山	樹齢100年超の人工林と天然林	盛岡市
5	山地草原	平庭高原～安家森	白樺林が生育し、シバ草地が広がる高原草地	久慈市、葛巻町、岩泉町
6		早坂高原	イヌワシをはじめ、希少種が生息・生育する高原草地	盛岡市、岩泉町
7	低地～低山	花巻市矢沢地域	県内唯一のゼニタナゴが棲む里地里山	花巻市
8		和賀川流域	サシバが飛来し、カタクリが生育する里地里山	西和賀町
9		久保川流域	古くからの里山景観と、積極的な生物多様性の保全・再生活動	一関市
10	河川・湖沼	安家川	カワシンジュガイが生息する清流の生態系	岩泉町
11		大槌川・小槌川	湧水エリアと陸封型イトヨの生息地	大槌町

4 今後の予定

- ・ 11月を目途に、県ホームページへの掲載や報道機関への情報提供を行う。
- ・ 各選定地域において、多様な主体の参画と協働による保全活動が促進されるよう、県のグリーンボランティアとの連携による活動を推進。地域毎のニーズに応じたボランティアとのマッチング等を行う。
(例) 草刈り、外来種駆除、自然観察会補助等

【参考：地域選定方法】

- ・ 自然環境保全指針において、県内の自然環境（植生、地形）をA～Eの5ランクで評価し、1kmメッシュ地図を作成したが、当該データを使用し、生物多様性上重要な地域の選定を行った。
- ・ 選定に当たっては、里地里山などの二次的自然の重要性を念頭に、指針活用データのほか、さとやま指数※を用いて選定。
- ・ 特に、猛禽類のイヌワシやチョウ類のゴマシジミなどの希少野生動植物が生息・生育している地域や、地域住民が維持・管理することによって多種多様な野生動植物の生息・生育環境となっている地域などを選定することとし、里地・里山のような二次的自然を構成要素とする「海岸」、「山地森林」、「山地草原」、「低地～低山」、「河川・湖沼」の5つの生態系に区分。

※ さとやま指数・・・どの程度の多様な土地利用が含まれているかを評価する指標であり、ある一定空間内に農地と農地以外の土地利用がどのくらいの割合で含まれているかを基に、土地利用の不均一性を算出。環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山」の選定においても使用された。

【留意事項】

今回選定することにより、その地域の人々のくらしや土地の利活用等に対し、新たな制約や規制等を生じさせるものではなく、また、これまでと同様の管理を義務付けるといったものではないこと。

(案)

生物多様性上重要な地域

私たちにとってかけがえのない生物多様性について、代表的な地域とその保全活動の事例を「生物多様性上重要な地域」として取りまとめました。



早坂高原のノハナショウブ群落

令和3年 月

岩 手 県

生物多様性の保全に向けて

地球の歴史とともにかたち作られてきた生物多様性は、私たち人間社会をも構成要素としながら様々なかたちで恩恵をもたらす、無くてはならない存在です。しかし、近年では人間社会の関わりの変化や気候変動などを原因とする危機に瀕しており、国家をはじめとする様々な主体によるはたらきかけが求められています。

生物多様性国家戦略では、生物多様性を社会に浸透させることや地域における人と自然の関係を見直し再構築することなどを掲げており、本県においても、生物多様性の保全や自然とのふれあいの促進などを図ることとしています。

生物多様性上重要な地域の選定

岩手県内には、高山や森林、河川などいろいろなタイプの生態系が存在しています。このうち高山・亜高山地域のような原生的な自然地域は、自然公園法などの環境関連法令により保全が図られている状況です。一方、里地・里山のような人との関わりあいのもとで成立する生態系は、自然に対する人の働きかけの縮小や外来種の拡大などを背景に近年急速に失われつつあります。

このため、来訪者や地域住民が生物多様性の重要性を理解・認識し、生物多様性の保全に関する県民意識の向上を図り、多様な主体の参画と協働による保全活動が促進されるよう、以下の基準を満たす地域を「生物多様性上重要な地域」として選定し、その地域の保全活動も合わせてモデル地域として広く紹介することとしました。

選定においては、特に、猛禽類のイヌワシやチョウ類のゴマシジミなどの希少野生動植物が生息・生育している地域や、地域住民が維持・管理することによって多種多様な野生動植物の生息・生育環境となっている地域などを選定することとし、里地・里山のような二次的自然を構成要素とする「海岸」、「山地森林」、「山地草原」、「低地～低山」、「河川・湖沼」の5つの生態系に区分しました。

生物多様性上重要な地域の選定基準

●選定基準1	豊かな自然環境や生態系が保たれている地域である。
●選定基準2	二次的自然や自然性の高い生態系を指標する種が生息・生育している。
●選定基準3	保全活動のモデル事例として紹介する必要性が高い地域である。

基準を満たす地域の選定作業は、まず希少種や二次的自然を指標する種の生息・生育情報などの既往資料に基づいた重要な地域の候補を抽出し、次に専門家へのヒアリング、候補地域を有する自治体への意見照会を行い、地域の絞り込みを行いました。

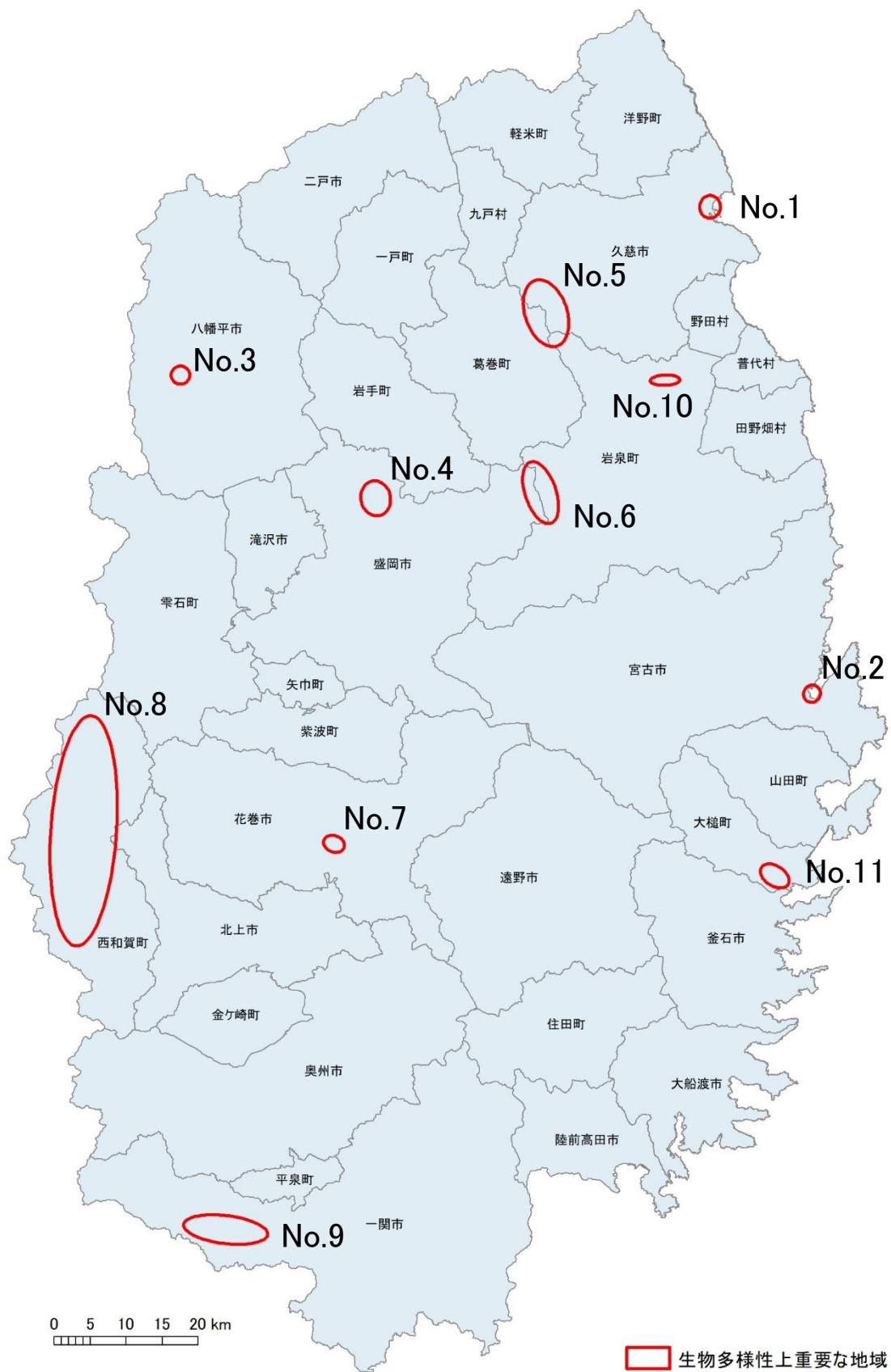
選定した生物多様性上重要な地域である 11 地域は、P2の一覧表に示すとおりです。また、11 地域の位置はP3の位置図、個々の地域の概要はP4以降に示すとおりであり、各地図上の地域の範囲(赤い○印)は、当該地域のおおよその位置・範囲を示したものです。

なお、今回の選定により、その地域の人々のくらしや土地の利活用等に対し、新たな制約や規制等を生じさせるものではなく、また、これまでと同様の管理を義務付けるものでもありません。

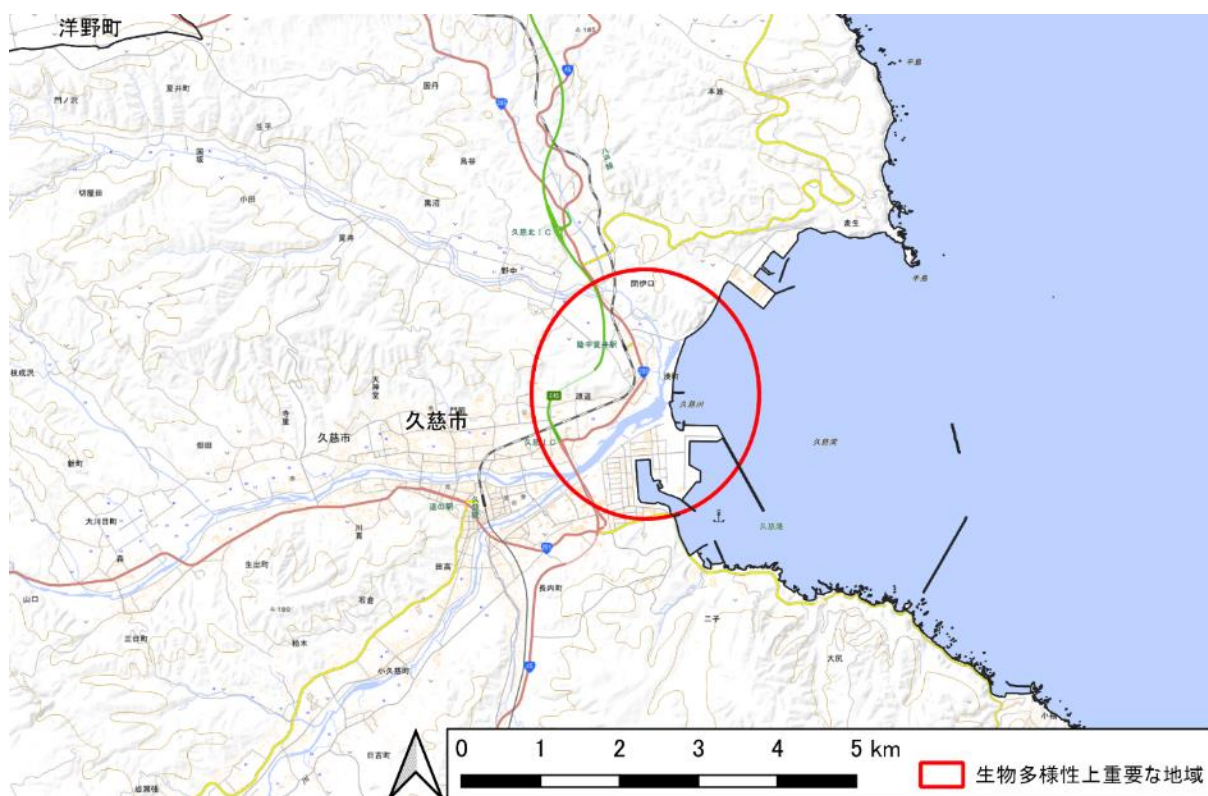
選定地一覧

No	生態系区分	選定地	特徴	市町名
1	海岸	久慈湾	三陸沿岸では希少な海浜性の生き物が生息・生育する広い砂浜	久慈市
2		宮古湾	渡り鳥が飛来し、ウミドリ等の希少種が生息・生育する干潟	宮古市
3	山地森林	安比高原ブナ二次林	放牧が育んできた高原のブナ林、シバ草地	八幡平市
4		姫神山	樹齢 100 年超の人工林と天然林	盛岡市
5	山地草原	平庭高原～安家森	白樺林が生育し、シバ草地が広がる高原草地	久慈市、葛巻町、岩泉町
6		早坂高原	イヌワシをはじめ、希少種が生息・生育する高原草地	盛岡市、岩泉町
7	低地～低山	花巻市矢沢地域	県内唯一のゼニタナゴが棲む里地里山	花巻市
8		和賀川流域	サシバが飛来し、カタクリが生育する里地里山	西和賀町
9		久保川流域	古くからの里山景観と、積極的な生物多様性の保全・再生活動	一関市
10	河川・湖沼	安家川	カワシンジュガイが生息する清流の生態系	岩泉町
11		大槌川・小槌川	湧水エリアと陸封型イトヨの生息地	大槌町

生物多様性上重要な地域の位置図

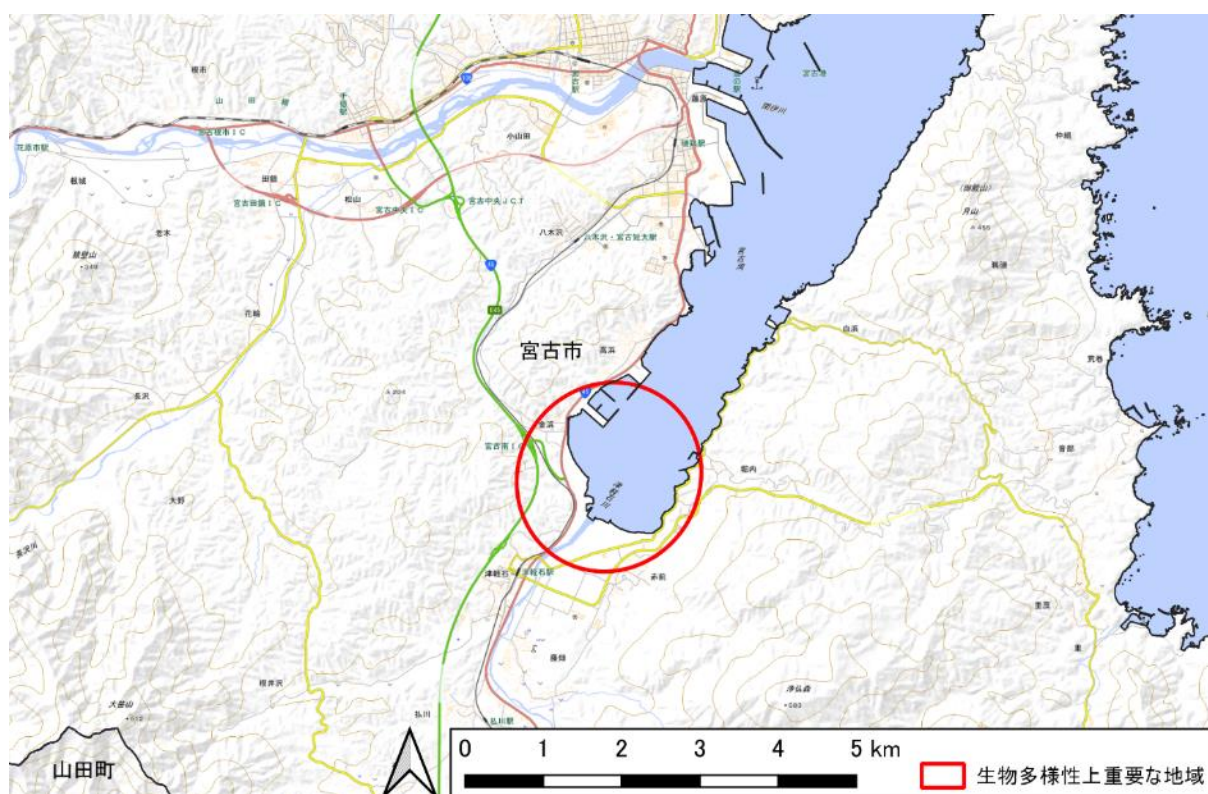


No.1 久慈湾(海岸生態系)



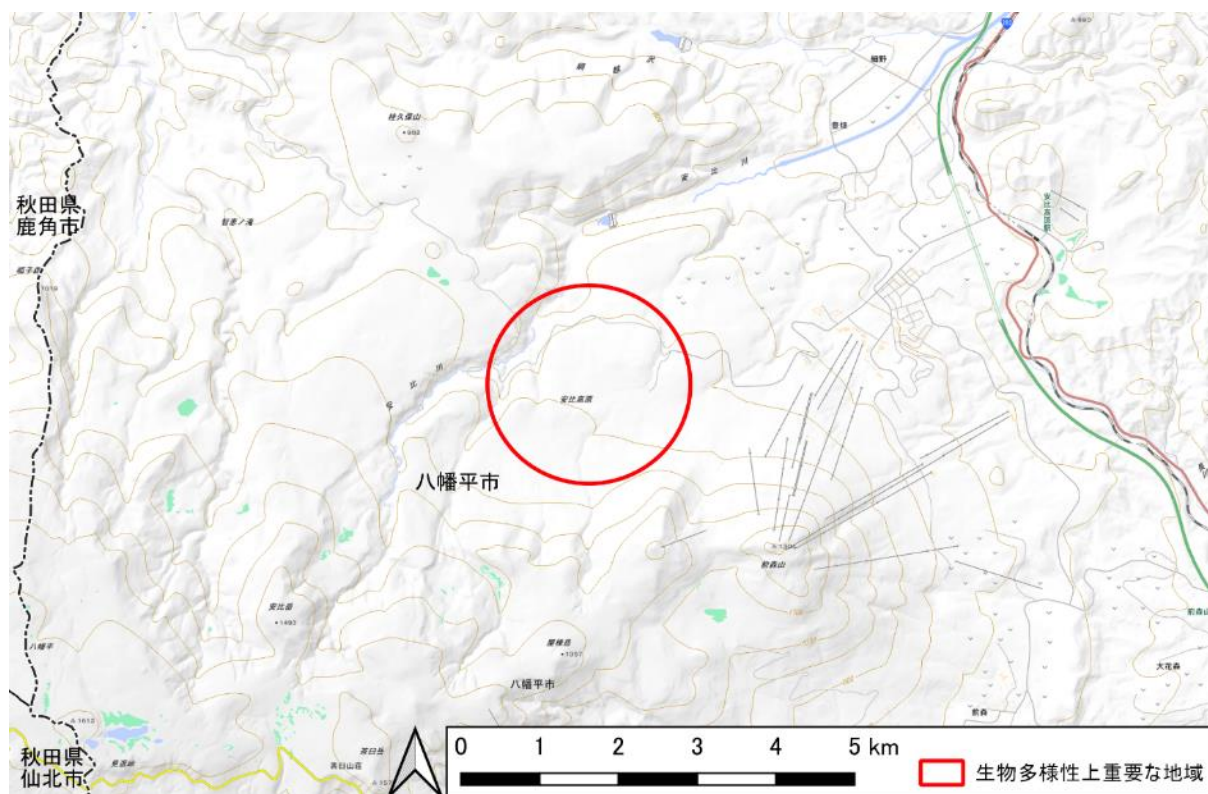
選定位置	シロヨモギ・ヒメシロチョウの分布地、久慈川河口の砂浜を含む範囲
地域概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県北部の沿岸で大きな砂浜を擁する自然海岸。ヒメシロチョウなどの昆虫類、シロヨモギ等の海浜植物が生育する砂浜に特有な絶滅危惧種が生息・生育する。 ・ シロチドリ等のシギ・チドリ類、ミサゴ等の猛禽類の飛来地となっている。 ・ 環境省のみちのく潮風トレイルコースに位置し、自然体験活動の場として利用されている。
法令等の指定状況	無し
活動主体と活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境省(みちのく潮風トレイル) <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然情報の収集・解説・体験 ・ 適正利用
管理の留意点	自然海岸や海浜性のシロヨモギ、ヒメシロチョウ等の生息・生育地の維持

No. 2 宮古湾(海岸生態系)



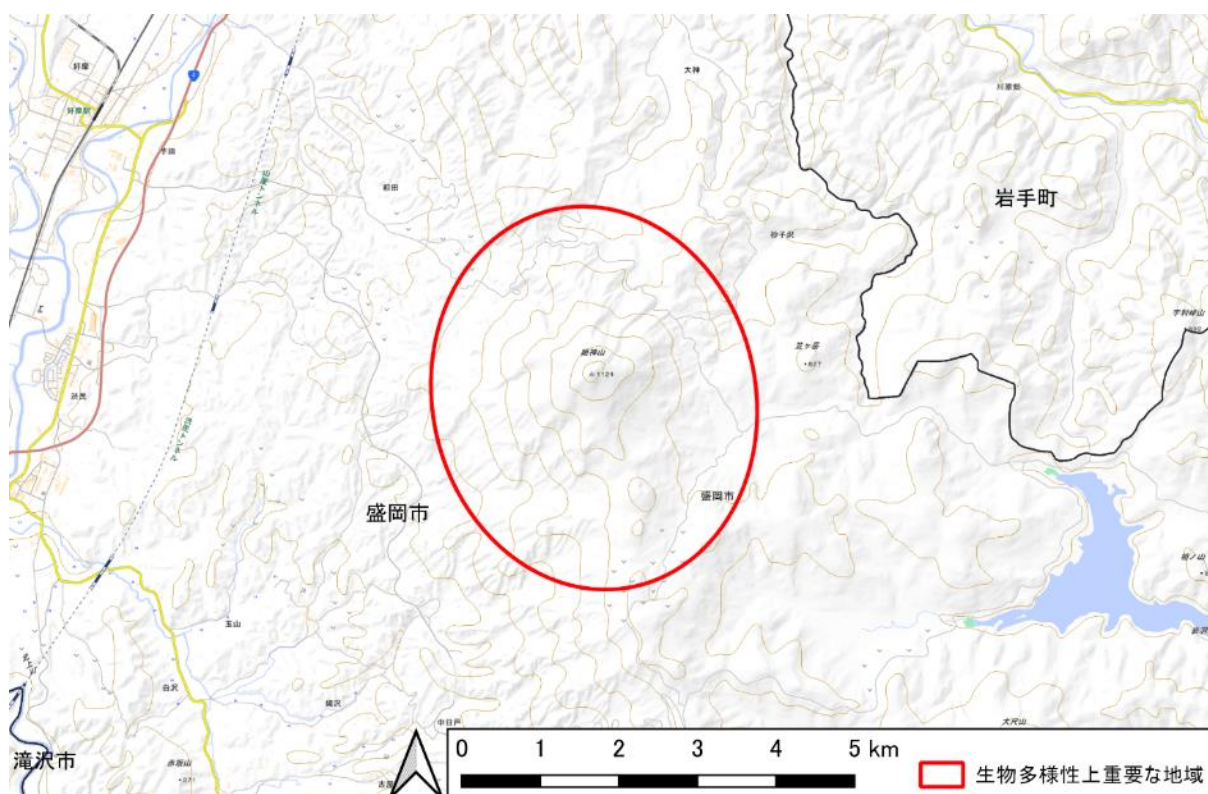
選定位置	津軽石川河口の干潟、赤前地区の砂浜、浅い海の藻場等を含む範囲
地域概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三陸海岸には数少ない広い干潟環境。コチドリ等のシギ・チドリ類、コクガン等のガン・カモ類、猛禽類の飛来地となっている。 ・ ハマゼリやウミミドリ等の干潟に特有な絶滅危惧種の多くが消滅の危機に瀕しており、今後の保全対策が強く求められる。 ・ 探鳥会などの活動がなされているほか、浅海性ベントス(底生生物)の多様な生息地として、環境省の「重要湿地」に選定され、地域住民による二枚貝の回復活動がなされている。
法令等の指定状況	環境省 重要湿地(No.97 三陸リアス海岸の湾奥沿岸:宮古湾、山田湾、大槌湾、広田湾などの広い範囲を指定)
活動主体と活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野鳥の会宮古支部 <ul style="list-style-type: none"> ・ 野鳥観察会 ○ 宮古湾干潟環境保全委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 二枚貝回復、サキグロタマツメタ等の除去、保護区域の設定
管理の留意点	渡り鳥が飛来、海浜・塩生湿地生物が生息・生育する干潟環境の維持、外来種対策

No. 3 安比高原ブナ二次林(山地森林生態系)



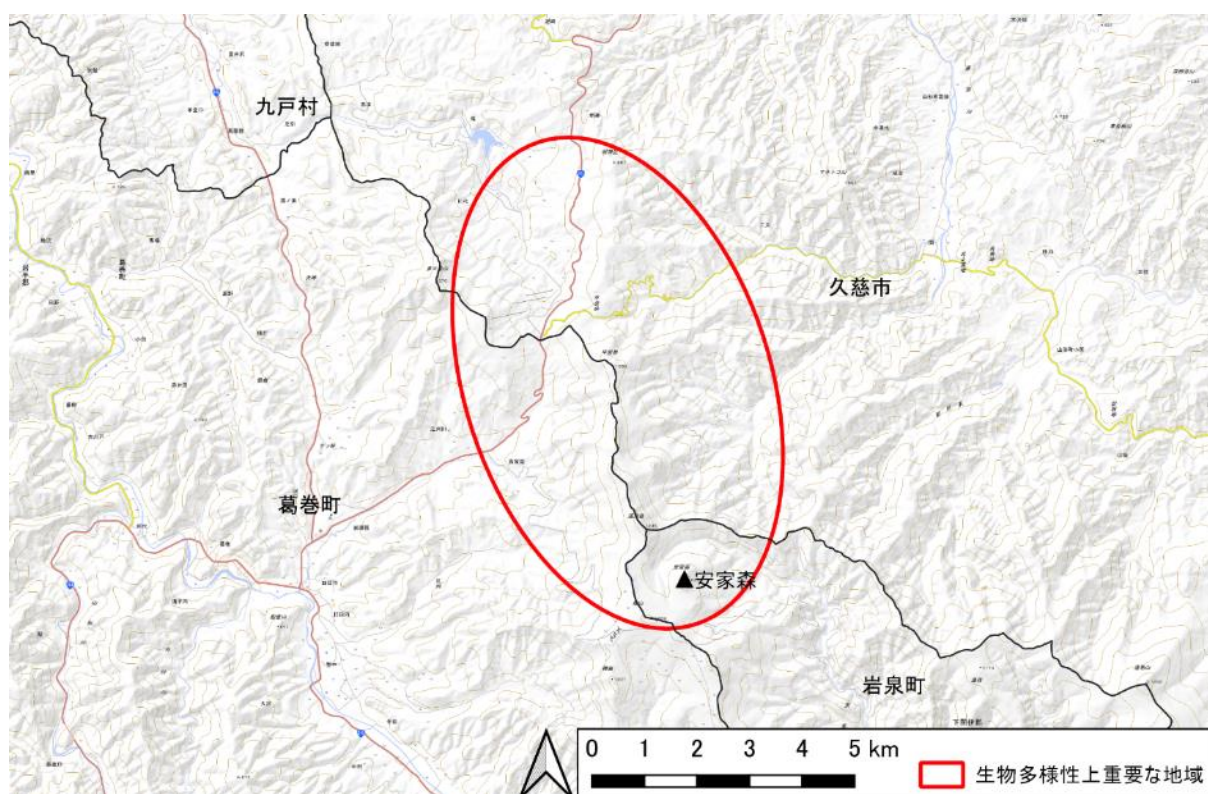
選定位置	八幡平市の岩畑山付近に位置する「安比高原ブナ二次林」周辺
地域概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薪炭林の伐採後に形成されたブナの一斉林。二次的なシバ草地在隣接し、山地樹林に依存したクロサンショウウオやフジミドリシジミ、オオヤマサギソウのほか草地在に依存したギンイチモンジセセリなど多くの絶滅危惧種が生息・生育する。 ・ 本地区では、過去に牛を林間放牧したことで稚樹の生育が守られ、ブナの二次林が形成され、現在はブナ二次林の周辺で馬が放牧されることで、シバ草地在が維持されている。 ・ このブナの二次林とシバ草地在は、ともに良好な二次的自然として「安比高原ブナ二次林」の構成要素となっており、自然散策や草地在再生の場として利用されている。
法令等の指定状況	無し
活動主体と活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 林野庁東北森林管理局(あつぴ高原遊々の森) <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然情報の収集・解説・体験 ○ イーハートヴォオ安比高原自然学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然体験 ○ 安比高原ふるさと倶楽部 <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保全と持続可能な活動、情報発信、馬の放牧(草地在再生)
管理の留意点	ブナ二次林による森林生態系の維持

No. 4 姫神山(山地森林生態系)



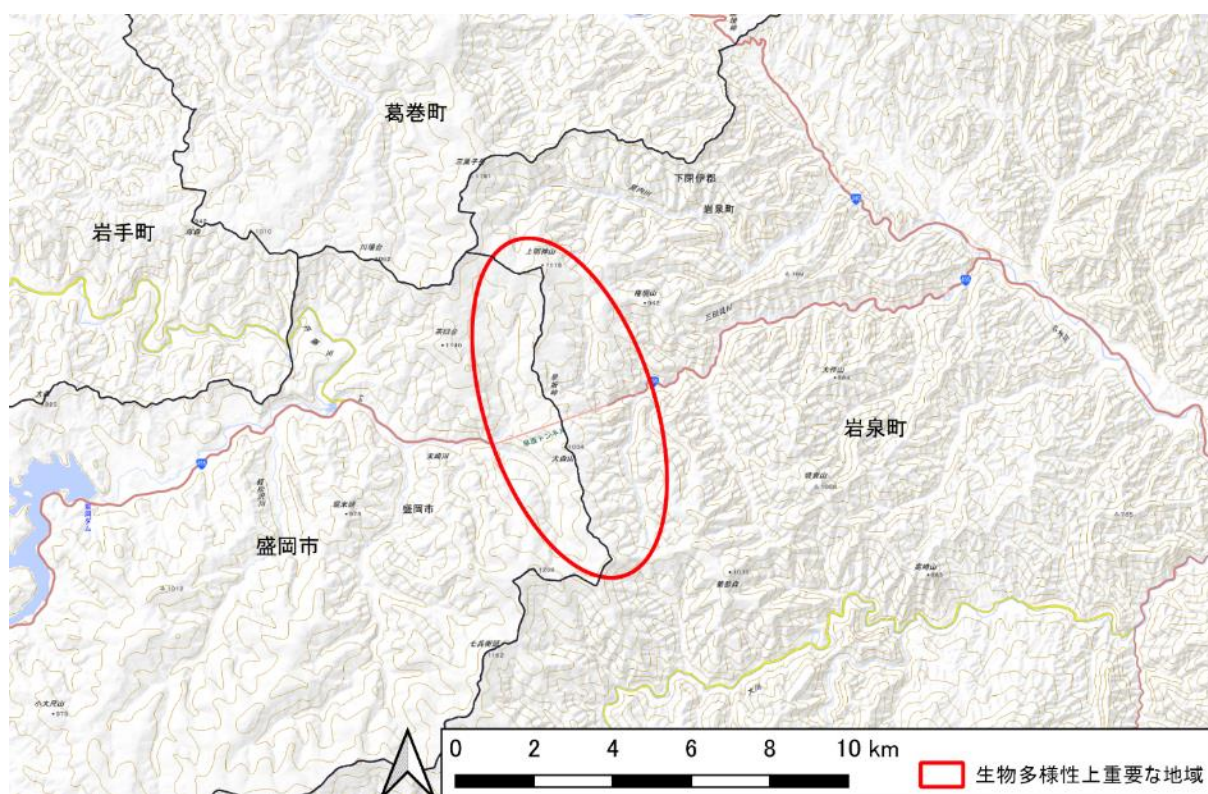
選定位置	外山早坂高原県立自然公園の第1種特別地域を中心とした姫神山山頂付近
地域概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊かな森林生態系が維持された山地。イヌワシなどの猛禽類、山地樹林に依存したヨタカ、フクロウ、ヒメギフチョウ、キタカミヒョウタンボクなどが生息・生育する。 ・ 登山活動の場として認知度が高く、姫神自然観察教育林では林齢約50～100年生のスギ・アカマツ人工林、ブナ・ミズナラ等の天然広葉樹林を観察することができる。
法令等の指定状況	外山早坂高原県立自然公園(第1・3種特別地域)
活動主体と活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 林野庁(姫神自然観察教育林) ・ 自然情報の収集・解説・体験
管理の留意点	スギ・アカマツ人工林、ブナ・ミズナラ林を中心とした森林生態系の維持

No. 5 平庭高原～安家森(山地草原生態系)



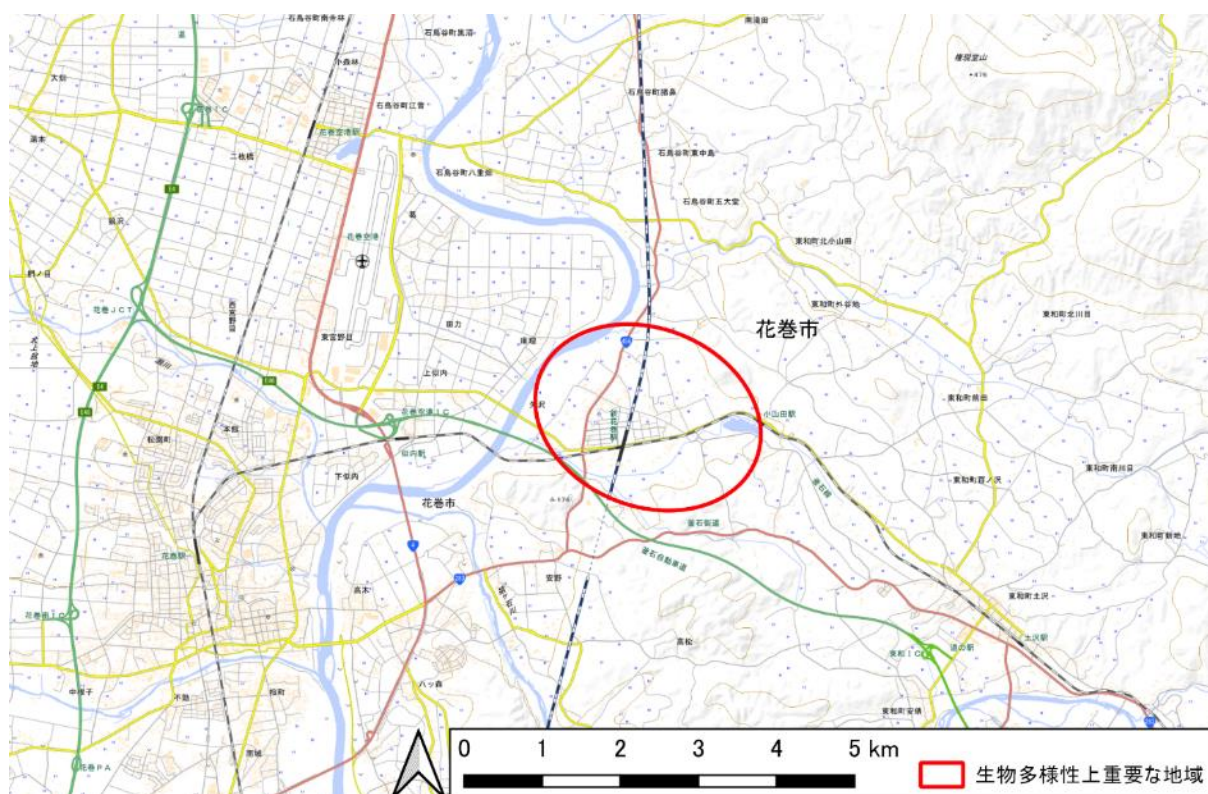
選定位置	久慈平庭県立自然公園と安家森の山頂付近を含む範囲
地域概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風衝草原やシバ草地、白樺林に特徴づけられ、牛の放牧により維持された里山的な山地の草地。草地環境に依存したイヌワシやヒメシロチョウ、ミチノクゴメグサなどの絶滅危惧種が生息・生育する。 ・ 久慈市、安家森の会などにより、草原や白樺林の再生が進められており、環境省の「重要里地里山」に選定されている。
法令等の指定状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 久慈平庭県立自然公園(第2・3種特別地域) ・ 環境省 重要里地里山(安家地区)
活動主体と活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩泉町(安家森の会) <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然景観の保全、地域活性化、林間放牧 ○ 久慈市、岩手県立大学、森林総合研究所 <ul style="list-style-type: none"> ・ シラカンバ林の調査、再生の研究
管理の留意点	山地草地生態系の維持(放牧や人の手による管理)

No. 6 早坂高原(山地草原生態系)



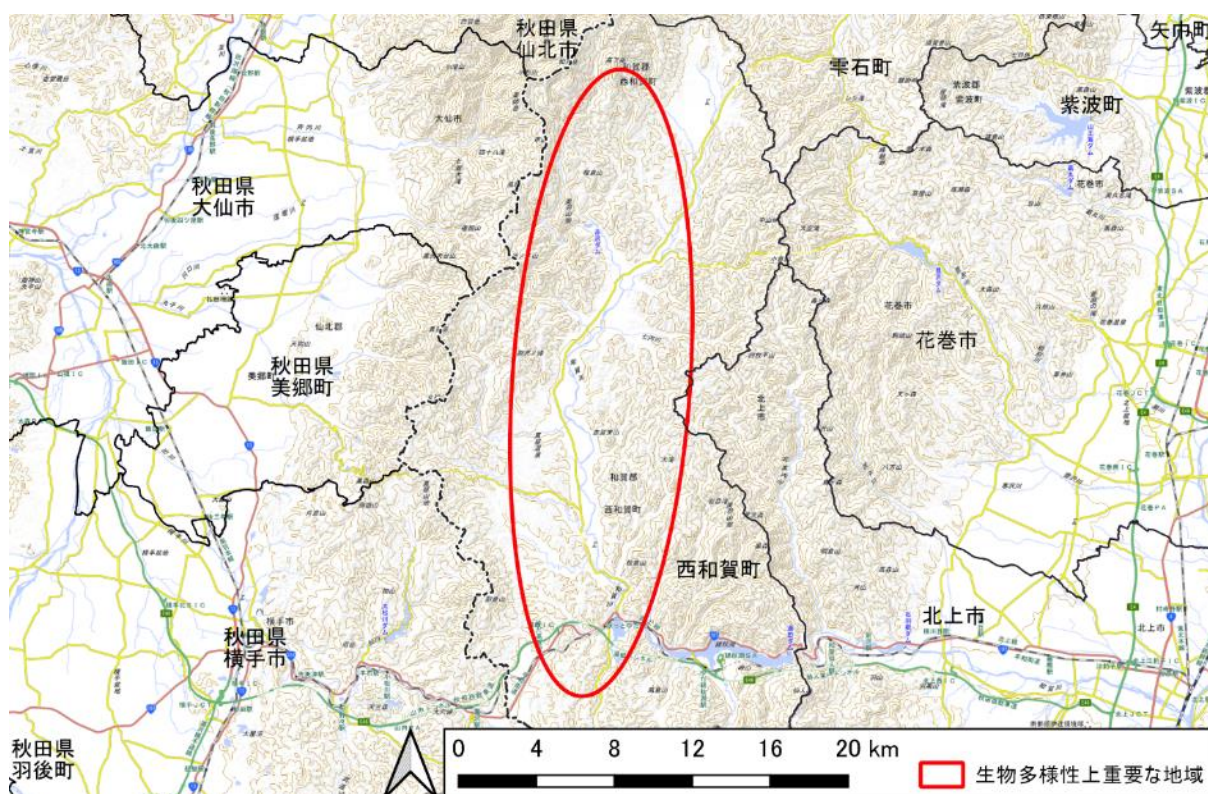
選定位置	盛岡市と岩泉町境界の上明神山から大森山を結ぶ稜線付近 ※ 環境省重要な里地里山(早坂高原)と同じ範囲
地域概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「夏山冬里方式」による短角牛の放牧地として伝統的に利用されてきた高原草地。稜線を中心に風衝草原やシバ草地が広く散在し、草地環境に依存したイヌワシやオキナグサなどの絶滅危惧種が生息・生育する。 ・ 放牧や人が手を入れることによって維持される里山的環境であり、岩泉町や山形大学などによる草地の再生がなされており、環境省の「重要里地里山」に選定されている。
法令等の指定状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外山早坂高原県立自然公園(第2・3種特別地域) ・ 環境省 重要里地里山(早坂高原)
活動主体と活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩泉町(早坂高原ビジターセンター) <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然情報の収集・解説・体験 ○ 岩泉町 <ul style="list-style-type: none"> ・ 釜津田肉牛生産組合 ・放牧による草地再生
管理の留意点	山地草地生態系の維持(放牧や人の手による管理)

No. 7 花巻市矢沢地域(低地～低山生態系)



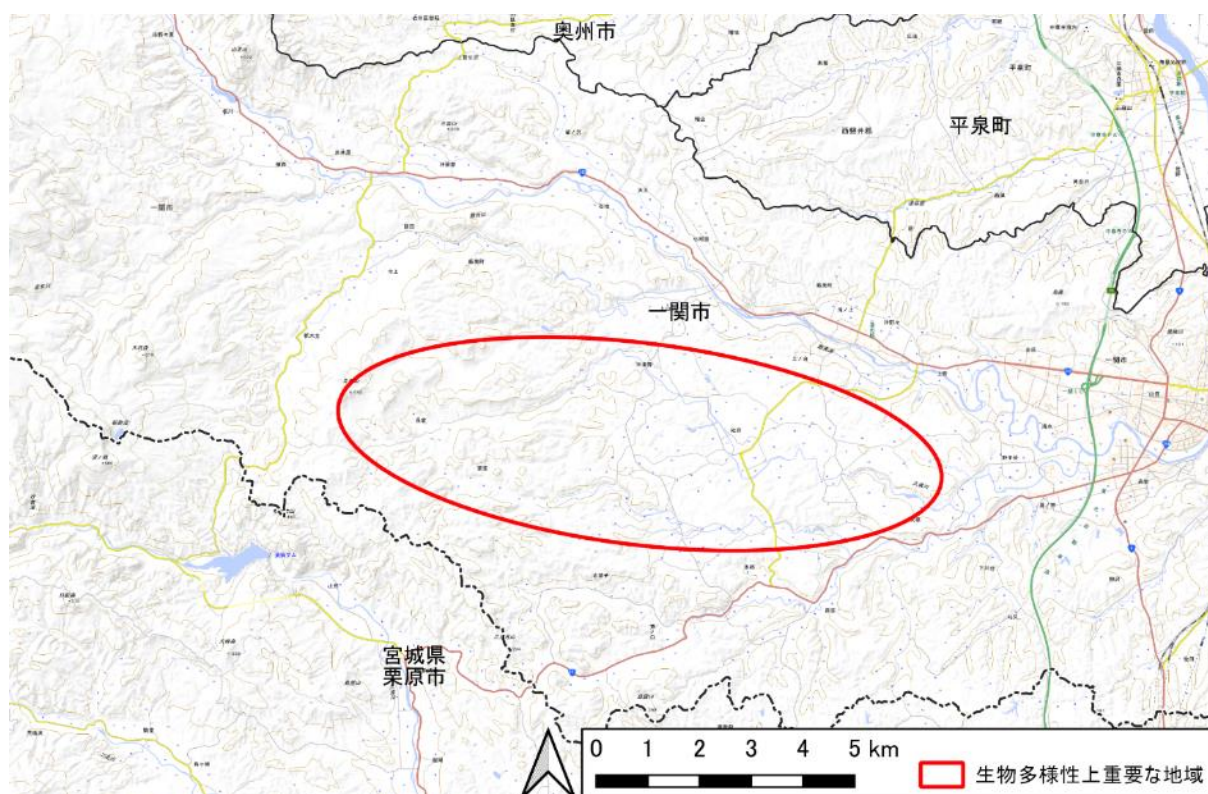
選定位置	花巻市矢沢地域付近 ※ 環境省重要な里地里山(矢沢地域)と同じ範囲
地域概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 良好な谷津田地形が保存された内陸中央部の典型的な里地・里山地域。大森山周辺にため池と水田、畑地などの里山要素が、狭い範囲内に認められる。 ・ 県内唯一のゼニタナゴの生息地であるほか、シナイモツゴ、ミナメダカ等の希少な淡水魚類が生息する。 ・ 地元活動団体による淡水魚類の保護活動がなされており、環境省の「重要里地里山」に選定されている。
法令等の指定状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境省 重要里地里山(矢沢地域) ・ 県指定文化財(天然記念物・動物 花巻矢沢地区のゼニタナゴ生息地)
活動主体と活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 矢沢地域の自然保護を考える会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外来種対策、休耕田ビオトープを維持・管理、自然観察会、ワークショップ ○ 環境省 <ul style="list-style-type: none"> ・ 里地里山保全・再生の特徴的取組
管理の留意点	ゼニタナゴ・シナイモツゴなどの生息地の維持(里地里山・ため池の環境維持・保全)

No. 8 和賀川流域(低地～低山生態系)



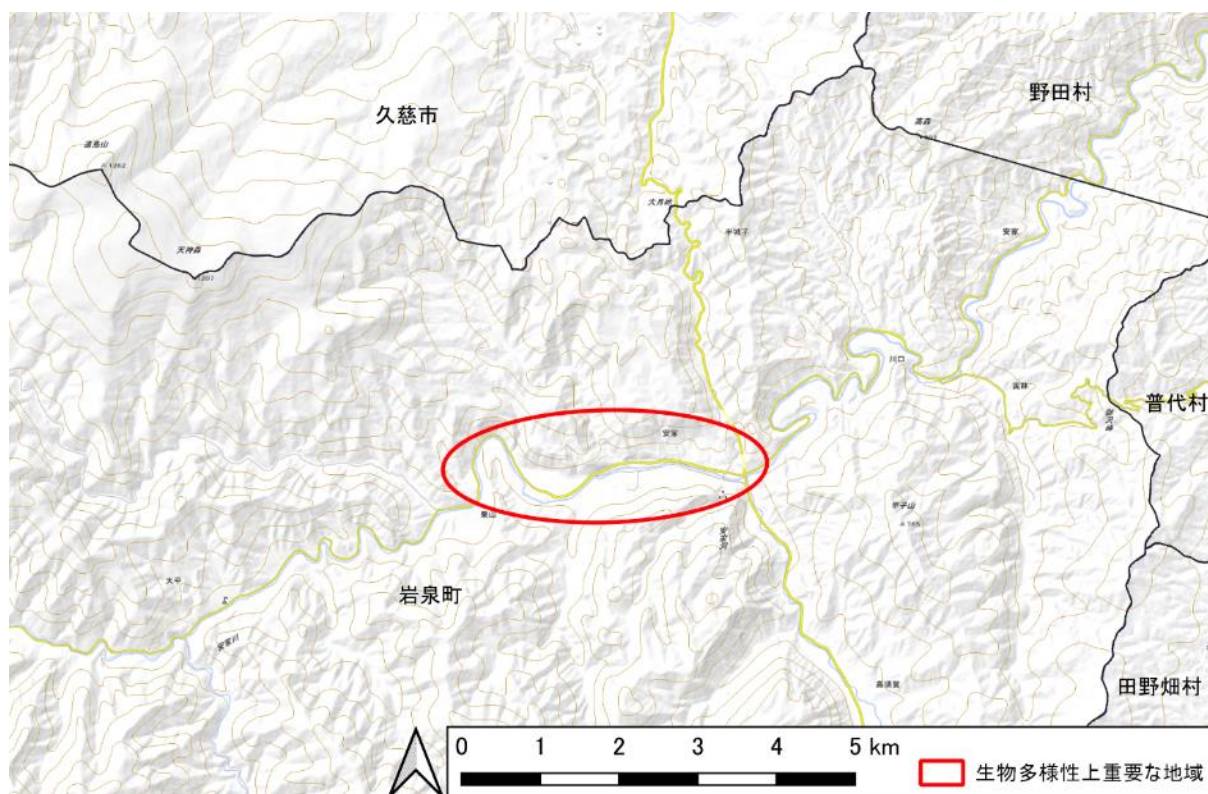
選定位置	和賀川の錦秋湖流入から和賀岳付近 ※ 環境省重要な里地里山(西和賀カタクリの里)と同じ範囲
地域概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 奥羽山系の原生的自然に囲まれ、人為的影響がほとんどない清流や里山環境がモザイク状に分布する地域。河川環境を指標するトウホクサンショウウオやゲンジボタル、ミクリ類、里山から山地樹林を指標するサシバやハイタカ、ムカシヤンマ、ザゼンソウなどが生息・生育する。 ・ ビオトープ造成や「カタクリの会」による地域をあげての活発な保全活動が実施されており、環境保全に留意した適切な管理が求められる。
法令等の指定状況	湯田温泉峡県立自然公園(第2種特別地域)
活動主体と活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ カタクリの会 <ul style="list-style-type: none"> ・ カタクリ群生地の保全、観察会 ○ 西和賀町・東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所 <ul style="list-style-type: none"> ・ かわまちづくり計画策定と登録、親水空間・駐車場・景観整備
管理の留意点	和賀川周辺の里地・里山を中心とした生態系の維持

No. 9 久保川流域(低地～低山生態系)



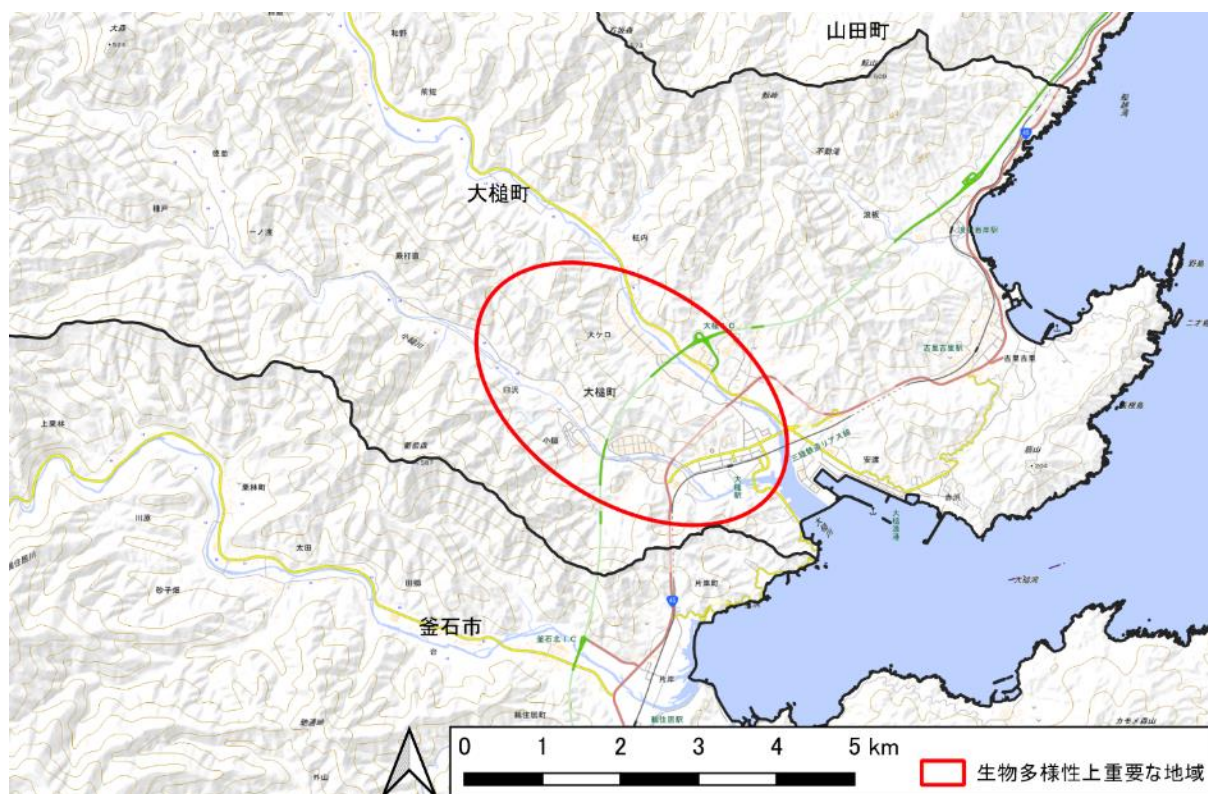
選定位置	久保川の上・中流域 ※ 環境省重要な里地里山(久保川イーハートブ世界)と同じ範囲
地域概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人手の管理下においてため池、水田、用水路、河川が維持され、景観的にも優れた県南部の典型的な里地環境。里山環境を指標するノスリやニホンアカガエル、ミナメダカ、タガメ、キキョウの良好な生息地が分布する。 ・ 「久保川イーハートブ自然再生研究所」により、水辺や二次林の管理等の保全活動行われており、環境省の「重要里地里山」に選定されている。
法令等の指定状況	環境省 重要里地里山(久保川イーハートブ世界)
活動主体と活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 久保川イーハートブ自然再生研究所(自然再生協議会) <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然再生 全体構想及び実施計画、外来種対策、雑木林や水辺の保全再生 ○ 東京大学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生態系や生物多様性の調査 ○ 水環境ネット磐井川 <ul style="list-style-type: none"> ・ 炭焼き、外来種対策
管理の留意点	水田やため池群、湿地を中心とした里地・里山生態系の維持

No. 10 安家川(河川生態系)



選定位置	安家川の長内沢、江川川合流付近(カワシジユガイ生息地)
地域概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然度の高い河川生態系が維持され、北上山系の渓流的環境を代表する河川環境。河川上流域に依存したサクラマス(ヤマメ)やカジカガエル、バイカモ、山地森林に依存したサンショウクイやヒメギフチョウ、フクジュソウなどの絶滅危惧種が生息・生育する。 ・ 希少淡水貝のカワシジユガイは、岩泉町の天然記念物に指定され、河川改修時には移殖等の保護活動がなされている。 ・ 環境省の「重要里地里山」及び「重要湿地」に選定されている。
法令等の指定状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町指定文化財(天然記念物・動物 カワシジユガイ) ・ 環境省 重要里地里山(安家地区) ・ 環境省 重要湿地(No.89 安家川 淡水貝類)
活動主体と活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩手県 <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川改修区間のカワシジユガイの移殖 ○ 安家川漁業協同組合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川調査及び稚魚放流事業
管理の留意点	カワシジユガイを中心とした河川生態系の維持

No.11 大槌川・小槌川(河川生態系)



選定位置	イトヨ(陸封型)生息地の源水川、大ヶロ川、寺野沢川、イトヨ交雑個体群生息の町方湧水群(郷土財活用湧水エリア)を含む範囲
地域概要	<ul style="list-style-type: none"> 湧水を起源とする河川によって維持された低地の河川環境。河川環境を指標するオオバンやミクリ、カワヂシャなどが生息・生育する。 特に、イトヨ(陸封型)は県内でも唯一の生息地であり、生息地がジオサイトに登録されているほか、官民協働による保護活動が進められている。
法令等の指定状況	無し
活動主体と活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大槌町 <ul style="list-style-type: none"> ・ 源水川の環境整備、郷土財活用湧水エリアの整備 ○ 三陸ジオパークのジオサイト(源水川) <ul style="list-style-type: none"> ・ 源水川(湧水)とイトヨ生息地
管理の留意点	イトヨを中心とした河川(湧水)生態系の維持